

報告：原発問題をめぐる全体状況

@第98回脱原発八千代ネットワーク定例会

2021年4月24日 川井康郎

1. フクシマの状況

- (1) 4/13 政府は多くの反対の声を押し切って、福島第一に溜まっている汚染水の海洋放出を決定。現在の貯水量は約135万トン、トリチウム量は約860兆ベクレル、その他の放射性核種も基準値以上に含まれている。今後、約2年後から30-40年をかけて放出予定と。
- (2) 3/26 廃棄物貯蔵コンテナの腐食部分から放射性物質が漏えい。1Fにおける廃棄物管理の杜撰さが明らかになる。

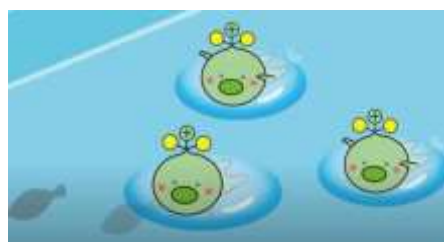


2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働状況：運転中は大飯④、高浜③④、玄海③④、川内①②の7基。じわじわと増加している。大飯③は亀裂した一次配管取替え工事、伊方③は特重設備完成後に再稼働の予定。
- (2) 3/18 に水戸地裁で避難計画が実効性を欠くとして稼働差し止め判決が出された東海第二原発について、茨城県が30km圏内から圏外への避難所を再調査したところ、不足は約2万人超であることが判明。
- (3) 4/14 規制委員会は柏崎刈羽原発に対して核燃料移動を禁じる是正措置命令を発出。昨年以来の核防護上の不備（他人のIDカード不正使用、侵入防止装置15件故障等）が連続し、是正されていないため。同原発の再稼働は当面見通せなくなった。

3. その他のトピック

- (1) 4/20 平沢勝栄復興相はトリチウムの安全啓蒙活動に「ゆるキャラ」を使用したことを被災者に謝罪。動画、チラシは修整・再配布と。安全キャンペーンそのもの見直しはせず。
- (2) 4/22 政府の地球温暖化対策推進本部は、2030年の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減の目標を決定（現行は26%）。また、政府、電力業界より「脱炭素」「カーボンニュートラル宣言」に便乗した原発推進の宣伝が活発に行われている。
- (3) 元国務次官補のT・カントリーマン氏は取材に対して、2016年、オバマ大統領による核兵器先制不使用宣言を日本政府の反対により断念したと証言（4/6 東京新聞報道）



<以上>